

北秋田市・にかほ市・横手市平鹿町で移動県連を開催

県内3地区において「移動県連」が開催され、商工会役員等延べ156名が参加しました。

今年で3回目となるこの「移動県連」は、県連合会の正副会長等が県内各地に出向き、商工会の方々と意見交換を通じて、地域のニーズや課題を把握し、関係機関への政策要望等に役立てることを目的としています。

今回の意見交換のテーマは、後継者不足が大きな課題となっていることを踏まえ、「事業承継の現状と課題、今後の対策」とし、県が策定を目指している中小企業・地場産業振興条例に意見を反映させることも狙いとして行われました。

パネルディスカッションでは、はじめにコーディネーターの佐瀬道則氏から「3割近い会社が後継者がいないため廃業を考えている」という調査結果を示しながら問題提起し、これを受けて、各地区3名の商工会代表者から各自自身の体験談を通じて、先代あるいは後継者の視点から

県北

9月26日(木)

ホテルニュー松尾(北秋田市)

【コーディネーター】

MSコンサルティング
佐瀬道則氏

【パネリスト】

かづの 岩船 勝広氏
北秋田市 藤本 忠氏
二ツ井町 工藤 晃氏



中央

10月1日(火)

ホテルエクセルキクスイ(にかほ市)

【コーディネーター】

MSコンサルティング
佐瀬道則氏

【パネリスト】

男 鹿市 大坂 真一氏
湖東3町 荒川 滋氏
にかほ市 三浦 俊之氏



県南

10月3日(木)

平鹿生涯学習センター(横手市平鹿)

【コーディネーター】

MSコンサルティング
佐瀬道則氏

【パネリスト】

仙 北市 島川 祥氏
よこて市 大嶋 秀夫氏
ゆざわ小町 佐藤 鉄也氏



事業承継の際の課題や求められる心構え等を紹介いただいた。その後、フロアからも質問や意見を交えながら活発な意見交換が行われました。

また、交流懇親会の席上では、8月9日の豪雨災害に見舞われた、かづの、大館北秋、仙北市の3商工会に対して、義援金の贈呈が行われました。

「商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟」全県商工会長らと情報交換

9月24日(火)「商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟」の県議と県内商工会長、県青連・県女連・青年同友会の正副会長との情報交換会を秋田キャッスルホテルで開催しました。

情報交換会では、県北・中央・県南地域の商工会を代表して、地域の概況報告と今後の取り組みについて報告がありました。

▽日沿道事業化に伴うサービスエリア機能「ガソリンスタンド、道の駅」の要望提言(二ツ井町商工会 菊池会長)

▽「鱧しよっつる」を活用した料理・商品づくりの取り組み紹介(にかほ市商工会 佐藤会長)

▽東北中央道の未整備区間の早期着工要望と「詩の街ゆざわ」「うどんエキスポ」の取り組み紹介(ゆざわ小町商工会 上坂会長)

その後の意見交換では、豪雨被害で通行止めになっている国道341号の早期復旧や、県中小企業振興条例の実効性確保等を要望したほか、事業承継対策の必要性や女性部「おもてなし活動」などについて活発な意見が取り交わされました。



「小規模企業基本法」制定が本格化

一般の6月国会において、「小規模企業活性化法(中小企業基本法等の一部改正)」が成立し、小規模企業に焦点を当てた政策が打ち出されました。

これまでの中小企業政策の対象は、従業員ゼロの零細事業者から従業員300人の中規模企業まで一律の政策体系となっており、同じ枠組みの中で支援施策(補助金等)を講じて、小規模企業にとって活用しにくい制度・運用になっている等の指摘がありました。

こうした問題を踏まえ、商工会ではこれまでに、零細な小規模企業に特化した「小規模企業基本法」の制定と併せ、小規模企業政策の拡充や制度改善を求めてきましたが、今回の法体系の整備を機に、その実現に弾みがつくこととなります。

先日の参議院議員通常選挙では、商工会組織候補の宮本周司氏(前全国商工会青年部連合会長・石川県)が当選を果たしましたが、「小規模企業基本法」の早期制定に向けて大きな意味を持つとともに、商工会員の声を国の政策に届ける仕組みが格段に向上していくことが期待されます。